



製作者の高松さん

黒澤止幾子^{ときこ}生家の 模型がコミセンに!

錫高野にある黒澤止幾子の生家の模型が、1月29日、コミュニティセンター城里に寄贈されました。黒澤止幾子は、学生発布にもなう日本初の女性教師で、その生家は今も錫高野に残っています。

制作者は、模型作りが趣味という水戸市在住の高松定治さん。模型は、茅葺きの屋根や教場に使われた文机、はた織り器、囲炉裏など、生家の様子が精巧に作られており、内部も屋根の開閉で見ることが出来ます。

高松さんは「今年には止幾子の生誕200年にあたる年。城里町の子どもたちをはじめ多くの人たちに、模型を見て、黒澤止幾子という人物がいたことを知って欲しい」と語りました。



黒澤止幾子(1806年～1890年)

幕末の動乱期、黒澤止幾子は54歳で単身京都に赴き、憂国の情と水戸第9代藩主徳川斉昭の無実を訴えた長歌を朝廷に献上し、幕府に捕らえられました。やがて錫高野の自宅を教場に私塾を経営し、明治5年の学制発布により日本最初の小学校女性教師となりました。京都の津崎村岡・福岡の野村望東とともに勤皇の「女流三傑」といわれています。

ヘルスサポーター養成講習会

1月24日と27日の2日間、保健福祉センターを会場に「ヘルスサポーター養成講習会」が行われました。ヘルスサポーターとは、「自分のからだを今一度見直し、問題点を見出し、日常生活のなかで健康づくりを実践し、自分自身の健康をしっかりと定着させる人」をいいます。

この講習会は、町食生活改善推進員協議会が実施し、22名が参加。生活習慣病予防食の調理実習、BMIで肥満チェック、今よりプラス1000歩をめざしたウォーキングの実習など合計10時間の講習会プログラムが実施されました。

減塩の講座では、①めん類の汁は全部飲まず残す②みそ汁は具たくさんにして1日1杯程度③漬物や佃煮はこれまでの半分の量に④何でも醤油をかけるのをやめる⑤醤油やドレッシングのかわりに酢、香辛料を使う、といった塩分を意識して薄味にする実践メニューを学びました。受講者たちは、「ついつい醤油やソースなどをかけてしまうが、これからは家族の健康のためにも、今回学んだ減塩の工夫を活かして少しずつ摂取する塩分量を減らしていきたい」と話していました。閉講式では、修了者一人ひとりに「ヘルスサポーター21登録証」が手渡されました。



BMIで適正体重を計算中



写真の児童左から斗南明日香さん、大坪完匡くん、小滝穂典くん

古内小 まゆ玉を寄贈

古内小学校では、小正月の伝統行事である「まゆ玉」づくりを毎年実施しています。1月26日・27日、町長室をはじめ町の各施設に、児童が手作りのまゆ玉を届けてくれました。また、まゆ玉制作当日のようすを、桂図書館・郷土資料館の展示室大画面で、5月まで放映しています。ぜひご覧ください。

チヨウさわやかクッキング 小松小で食育授業

小松小学校の4年生(16人)の親子を対象に、町食生活改善推進員協議会(富永トシイ会長)による食育事業、「親子料理教室」が1月25日に行われました。「チヨウさわやかクッキング」と題し、「腸」をきれいにする食物繊維たっぷり「超」さわやかな料理作りに挑戦しました。

献立は、ケーキすし、黒豆納豆の五目とろろ汁、おさつゴマだんご。児童たちは親子での調理を楽しみながら、主菜・副菜・主食・汁の種類などを学び、バランスのとれた食生活の大切さを見直しました。

さっそく、出来上がった料理をみんなで試食。児童からは「自分たちで作った料理がこんなにおいしいなんてビックリした」、保護者からは「次は家でも子どもと一緒に作ってみたい。勉強になった」などの感想がでました。ここでは、納豆の苦手な子ども食べられると好評だった「黒豆納豆の五目とろろ汁」の作り方を紹介します。

黒豆納豆の五目とろろ汁(作り方)

- ①干しいたけは分量の水に浸して戻し、みじん切りにする(もどし汁も使う)。
- ②①の干しいたけともどし汁を小鍋に入れて火にかける。沸騰したら弱火にして塩こんぶを加える。煮汁が半分くらいになったら、ポウルに移して冷ます。
- ③②に万能ネギとよく混ぜた納豆を入れて混ぜ合わせる。さらに、山芋・もずく・わさびを加えて混ぜ、しょうゆを加えて器に盛る。

♪ワンポイントアドバイス

納豆はよくかき混ぜて粘りを出してから、40℃くらいに冷ました汁に加える。

材料(4人分)

干しいたけ	20g
黒豆納豆	100g
もずく	80g
塩こんぶ	20g
しょうゆ	小さじ 2/3
わさび	少々
万能ネギ	40g
山芋(すりおろし)	200g
水	3カップ
☆1食分の食物繊維量	…1.7g



生涯学習 コーナー

スキー教室

1月22日(日)栃木県「エーデルワイススキーリゾート」において、56名の参加者のもと城里町スキー教室が開催されました。

初心者の方も講師の指導のもと熱心に練習をし、最後にはリフトに乗って滑れるようになるなどに参加された皆さんは楽しい一日を過ごすことができました。



冬の星空観察会

2月4日(土)に町内の小学生と保護者25名が参加して、常陸大宮市花立自然公園の「美・スター」で星座の観察会が行われました。

当日は空がきれいに晴れ、参加者はボランテアの方から星座の説明を受けながら、天体望遠鏡で月や土星を観察しました。

月のクレターがはっきり見えたり、土星が1cmの大きさに見え、輪もはっきり見ることができ、参加した子ども達は歓声をあげていました。



スケート教室

2月11日(土)町内の小学生を対象に笠松運動公園スケート場において、城里町スケート教室が開催されました。

初心者から経験者まで120名の参加があり、初めはなかなか立つことができなかつた子ども最後には一人で滑れるようになるなど、皆さんとても楽しく滑ることができました。



第19回 城北地方少年サッカー大会を開催

第19回を迎えた城北地方少年サッカー大会(主催:常北サッカースポーツ少年団、同育成会、後援:城北ライオンズクラブ)が、2月11日・12日の両日、常北運動公園広場ほか5会場で開催されました。

この大会は、少年サッカーの普及、発展を目指し、近郊の少年サッカーチームとの親睦を深めると共に、技術の向上と少年たちの健全育成を目指して開催しているもので、今回は特に、常北サッカースポーツ少年団結成20周年記念大会として実施されました。

県内外から36チームの参加があり、天候にも恵まれ、少年たちの白熱した試合が展開されました。

大会の結果は次のとおりです。



低学年の部で準優勝した常北チーム

【高学年の部(6年生主体のチーム)】

- 優勝 岩間サッカースポーツ少年団(岩間町)
- 準優勝 堀原サッカースポーツ少年団(水戸市)
- 第3位 南河内フットボールクラブ(栃木県)
- 第4位 友部サッカースポーツ少年団(友部町)
- 敢闘賞 常北サッカースポーツ少年団(城里町)
見川サッカースポーツ少年団(水戸市)

【低学年の部(4年生主体のチーム)】

- 優勝 友部サッカースポーツ少年団(友部町)
- 準優勝 常北サッカースポーツ少年団(城里町)
- 第3位 常陸太田サッカースポーツ少年団(常陸太田市)
- 第4位 見川サッカースポーツ少年団(水戸市)
- 敢闘賞 五軒サッカースポーツ少年団(水戸市)
堀原サッカースポーツ少年団(水戸市)

新成人者がパンフレットスタンドを寄贈

1月8日に開催された成人式において、実行委員会(代表 小松崎翔さん)が成人式の記念にと新成人者から寄付金を集め、町へパンフレットスタンド5台を寄贈していただきました。



高校生会会員募集

城里町高校生会(北村依里会長)では、ともに活動する高校生会会員を募集しています。町内に居住する高校生、またはこの会の趣旨に賛同する高校生でボランティアに興味がある方などなたでも入会することができます。

現在17名の会員が活動しています。町の行事や子ども会活動へ協力したり、活動はさまざまです。「地域のために何かしたい」「子どもと遊ぶのが大好き」「将来、保育士や教師になりたい」「何かに挑戦してみたい」「友だちをつくりたい」そんな高校生も大歓迎です。

きっかけや始める時期はそれぞれ違うけれど、「やってみよう!」と思ったなら、それがあなたのスタートです。興味がありましたら、お気軽にお問合せください。

入会申込み・問合せ

城里町教育委員会生涯学習担当

☎029-288-3135



北村依里会長(右)と小林由香副会長

第25回チャリティ春まつり 芸能大会の開催

町文化協会常北支部芸能部総出演で日ごろの練習成果を披露!!

日時 3月19日(日) 午前10時~午後4時30分

場所 コミュニティセンター 城里 ホール

《入場無料》

多くの方のご来場をお待ちしています。

家庭教育等でお悩みの方へ

家庭教育電話相談

内容 子育てや子どもの成長におけるさまざまな問題・悩みについて専門の相談員が対応します。お気軽にお電話ください。

電話番号 029-288-2409

日時 毎週月曜日 午後1時~4時